

『まちてん』コンテンツ概要

<カンファレンス概要>

■コミュニティプレイス編

開催日：11月28日(土) 10:30~12:00

イノベティブなまちづくりを実現するプラットフォームとして、人がつながる「コミュニティプレイス」が大きな注目を集めています。

その場を通じて、まちづくりプロジェクトが次々と生まれているのです。

まさに、人の結節点となる場づくりが、まちづくりのエンジン創出に直結！カフェ、ワークプレイス、復興プラットフォーム、空き家リノベーションなど、全国から注目を集めるコミュニティプレイスのイノベーターが登壇します。

・カフェから始まる西国分寺のまちづくり

登壇者：クルミドコーヒー店主、まちづくりプロデューサー 影山 知明など

■Youth 編

開催日：11月28日(土) 13:00~14:30

今、新しいアプローチでまちづくりをリードする Youth が増えています。

新しい価値観で、新しいテクノロジーを活かしながら、新しいまちづくりに取り組む、ジオグラフィカルな境界線を越えて、自由な発想で地域と全国をつなげています。

ワクワクするコンセプトに多くの Youth が共感し、日本全国にその波紋が拡大！援農キャラバン、シェア・ビレッジ、山菜採取代行、若者会議など、新たなムーブメントを巻き起こす Youth のイノベーターが登壇します。

・日本全国に100万人の「村」をつくる

登壇者：Share Village 村長 武田 昌夫など

■エクスペリエンス編

開催日：11月28日(土) 15:30~17:00

まちづくりを支えるファンをつくる上で、「地域エクスペリエンス」が注目されています。その地域にしかないオリジナルの体験こそ、外から人を引き寄せる求心力です。そこから生まれる地域ファンが、まちづくりのサポーターになっていきます。

今後のまちづくりのキーワードは、オンリーワンの地域エクスペリエンス！グルメマラソン、山頂クランペットカフェ、猟師エコツアーなど、地域の資源を巧みに活かすエクスペリエンスのイノベーターが登壇します。

・まちの魅力を体感するグルメマラソン

登壇者：南魚沼グルメマラソン プロデューサー 福田 六花など

■オープンイノベーション編

開催日：11月29日(日) 10:30~12:00

まちづくりにブレークスルーをもたらす鍵は、オープンイノベーションです。開かれたマインドセットで、地域内外の様々なリソースを組み合わせる…。そこから、イノベティブなまちづくりのキッカケを生み出していきます。

その結果、今、日本各地で様々なブレークスルーが続出！グリーンバレー、JK 課、小水力発電、野球独立リーグ、シビック・テックなど、オープンイノベーションをリードする注目のイノベーターが登壇します。

・創造的過疎をデザインする神山のチャレンジ

登壇者：NPO 法人グリーンバレー 理事長 大南 信也など

■サステナビリティ編

開催日：11月29日(日) 13:00~14:30

震災後、改めて、サステイナブルなまちづくりの重要性が見直されています。持続可能な地域モデルをデザインするために全国各地で議論が展開され、サステナビリティを反映したまちづくりが生まれ始めています。

地域の資源を活かしながら実現する、持続可能な地域モデルとは？里山ツーリズム、パーマカルチャー、自然エネルギー、防災、水産加工など、サステナビリティを具現化する注目のイノベーターが登壇します。

・飛騨の SATOYAMA EXPERIENCE

登壇者：株式会社美ら地球 CEO 山田 拓など

■New Wave 編

開催日：11月29日(日)15:30~17:00

価値観やテクノロジーの変化とともに、まちづくりのカタチも変化しています。5年後、10年後には、日本にどんなまちづくりが登場するのか？「New Wave」とも言うべき、まちづくりの新しい潮流に迫ります。

多様なプレイヤーの登場によって、まちづくりのポテンシャルは無限！起業家、食卓研究家、経営者、クリエイターなど、次代のまちづくりを面白くする、多彩なイノベーターが登壇します。

・地域に根ざしたスタートアップ

登壇者：ウミーベ株式会社 代表取締役 CEO カズワタベなど

<トークセッション概要>

■Google

小布施町では、まちの魅力を国内外に向けて発信するために、Google のトレッカーパートナープログラムで「地域まるごと見える化プロジェクト」を実施！

重さ 18kg のストリートビュー撮影用機材「トレッカー」をかついで、地元の人しか知らない裏道や隠れスポットをくまなく歩き、住民がみんなで力を合わせて延べ 3 週間にわたって撮影しました。

さらに、まちのお店・宿・観光スポットから厳選した約 60 件は、室内をもまるごと撮影を決行。住民主導で、Google マップを使いこなし、国内外に向けて「まちの魅力」を発信する、新しい観光マーケティング。そのプロセスとアウトプットを、まちてんトークセッションで初公開いたします。

■JTB

JTB はこのたび、地域で一步を踏み出したいのに、そのきっかけを作ることができない皆さまを応援する新たな取り組みを始めることにしました。このトークセッションでは、JTB の担当者がこの新たな取り組みに込めた想いとその概要をお伝えするとともに、その結果として生み出される無限の可能性についてゲストの皆さまとディスカッションします。

■Discover Japan

いかにして地域の魅力を発信するかは、地方創生における注目のアジェンダのひとつです。クリエイティブの力を活用して、地域の価値を高めていく…今後のまちづくりにおいて、地域ブランディングは極めて重要なキーワードといえます。このトークセッションでは、株式会社榎出版社 Discover Japan プロデューサーの高橋 俊宏さんに登壇いただき、日本全国の地域ブランディングの最前線についてお話いただきます。

■ミライカレッジ

「ミライカレッジ」は、少子高齢化や人口減少、地域活性化などの課題解決にライフデザインの視点から取り組んでいます。若者を対象に、将来の人生設計を具体的に考え、自分らしい生き方、仕事、結婚や家庭生活の実現を応援するプログラム群。ライフデザインを考えるうえで、暮らす場所・環境も重要な要素です。定住・移住促進、ビジネスマッチング、結婚支援、ローカル価値の創造、地域の担い手育成など、継続的にトータルで実施することで、より大きな効果、大きなうねりを創出できます。若者たちが人や地域と出会う体験や機会をとおして、新しい未来に出会えることを、ミライカレッジは応援します。

■IBM

IBM BlueHub プログラムは、新しいアイデアをビジネスにつなげるため、日本の起業家、開発者、学生を支援する目的で 2014 年にスタートしたプログラムです。現在では IBM だけでなく、VC やクラウドファンディング、中央官庁や大手企業のパートナーも含めたコミュニティに成長しています。講演では当プログラムのご紹介と、IBM BlueHub のインキュベーション・プログラム第一期企業である、テラスマイル株式会社の事例をご紹介します。テラスマイルは現在、九州をベースに活動しており、農業データの複合分析で、農業経営の見える化を可能にし、地方創生を目指しています。

■ETIC.

震災から 5 年目が目の今、各地でスタートアップが集積している東北。そんな東北では都市で培ったビジネススキルを活かして東北に関わり、地域で新しいプロジェクトを仕掛けている人がいます。彼らはどうしてこれまで関わりのなかった東北でプロジェクトを仕掛けられているのか？地域での新しいプロジェクトの仕掛け方のヒントを探ります。

■小布施若者会議

2015 年小布施若者会議では、35 歳以下の若者と企業、自治体が一緒になり、合宿形式で長野県小布施町の未来の事業を話し合いました。「既存企業のリソース」をいかに使えるのかという視点も持ちながら、観光、地域イノベーション、スポーツの 3 分野で議論。新しい形の地方創生に興味がある方はぜひご来場ください。

■日本郵便

兵庫県尼崎市の郵便局で行われている驚きのイベントを中心に、「販路拡大」をテーマとしたトークセッションをお届けします。全国の郵便局ネットワーク・地域から全国そして海外へとつながる物流網・地域に密着した社員という有形無形のリソースをフル活用した事例とともに、気鋭のモデレーターとともに今後の可能性を模索する、「郵便局をフル活用する」驚きのアイデアがたっぷり詰まった 40 分をお届けします。

■おとまち

ワクワクするまちづくりを実現するには、クリエイティブなアプローチが必要です。クリエイティブなまちづくりに取り組む注目のキーパーソンたちが、現場の知恵をシェアします。

■BBT 大学

100%オンラインで経営の学士を取得できる日本初の大学「ビジネス・ブレイクスルー大学 (BBT 大学)」は、福岡県で最も人口の少ない村である東峰村と連携して、定住人口の拡大・地域資源の活性化を目指す「プロジェクト T」を立ち上げました。海外在住の学生や日本の他地域の学生をオンラインによって村と結び、多様なアイデアを創出しながらフィールドワークを通じて具体化し、実現していくプロジェクトです。プロジェクトをリードする BBT 大学経営学部長の宇田 左近先生が登壇します。

■内閣府

このトークセッションでは、モデルケースの最新動向を取り上げながら、人口減少時代の地域デザインについてディスカッション。ゲストに“創造的過疎をデザインするイノベーター”として全国的に注目を集める大南 信也氏を迎え、地域活性化モデルケースを推進する内閣府地方創生推進室 参事官、モデルケースに選定されている京都府宮津市で理事を務める安東 直紀氏とともにお送りします。

■コンコードエグゼクティブグループ

日本ヘッドハンター大賞 MVP 受賞のキャリアコンサルタントとしての実績を持つ、コンコードエグゼクティブグループ 渡辺 秀和 社長が、まちづくりイノベーターの平野 彰秀さんをゲストに迎え、まちづくり分野で活躍するための戦略的なキャリア設計法について紹介します。

■大熊町

福島県双葉郡大熊町は、東日本大震災に伴う原発事故により、町民の約 96%が居住していた地域が帰還困難区域になっている自治体です。その大熊町で行われた「ふるさとの記憶」模型復元プロジェクトを通じて見えたこと、また、町で活動する復興支援員の現場の声などを通して、コミュニティのあり方、ふるさと再生へのプロセスなどを考える場といたします。

■ドーム

「社会価値の創造」、即ち「スポーツを通じて社会を豊かにする」を理念に掲げ、「スポーツ」を通じて新しい市場、新しい人材、新しい文化、新しい生活を創造し、社会に貢献、ひいては地域社会の活性化、地方創生にも貢献している 株式会社ドームで執行役員社長室長を務められている三沢 英生 氏が海外でのスポーツ産業化の事例を通して、スポーツが持つ価値とポテンシャルについてお話しします。

<ミニセミナー概要>

■特定非営利活動法人エティック

「学生限定！地域のイノベーションに挑む機会」

開催日：11月28日(土) 10:30~11:30

エティックは、次世代の起業家型リーダーの育成と社会へのイノベーション創出を通して、変革と創造にあふれるコミュニティづくりに挑む NPO です。地方におけるイノベーションという観点から、地域でのインターンシップをはじめ様々なプログラムを展開しています。ここでは、まちづくりや中小企業に関心を持つ学生のみなさんを対象に、地域のイノベーションの現場に飛び込む実践型のプログラムをご紹介します。

■BBT 大学(ビジネス・ブレイクスルー大学)

「オンラインで地方創生の武器を手に入れる」

開催日：11月28日(土) 13:00~14:00

BBT 大学は、オンラインで実践的な経営を学ぶことのできる大学です。実務家教員による超実践的な講義をスマホで受講することができるため、まちづくりに従事しながら実践的な経営の武器を手にすることができます。セミナーでは、BBT 大学経営学部長の宇田 左近先生が BBT 大学で展開している地方創生プロジェクトを紹介しながら、新しい学びのカタチをご案内します。

■東大まちづくり大学院

「気仙沼『まちなか復興×地方創生』シンポジウム」

開催日：11月28日(土) 15:30~16:50

東大まちづくり大学院は、まちづくりプロフェッショナルのための社会人コースです。今期のプロジェクト演習では、宮城県気仙沼市の中心市街地を対象に「まちなか復興×地方創生」の事業企画を提案します。このミニシンポジウムでは、その事業提案の発表を通じて気仙沼市の現状をお伝えするとともに、被災地がめざす地域創生のあり方を考えます。

■一般財団法人地域活性化センター／一般社団法人移住・交流推進機構(JOIN)

「まちづくりへのキッカケをつかむ！」

開催日：11月29日(日) 10:30～11:30

地域活性化センターおよび JOIN は、まちづくり／地域づくりへの参加の入り口となる様々なプログラムを提供しています。週末を活用したセミナーをはじめ全国各地で開催するワークショップ、また、地域の現場に深く入り込む地域おこし協力隊などのプログラムを事例とともに幅広くご紹介します。

■公益財団法人松下政経塾

「ソーシャルリーダーになる選択 ～まちづくりを通じて社会を変える～」

開催日：11月29日(日) 13:00～14:00

松下政経塾は、未来のリーダーを育成する公益財団法人です。まちづくり分野で活躍するリーダーという視点から、松下政経塾の卒塾生と現役塾生のゲストトークを展開します。愛媛県弓削島の地域づくりで注目を集める兼頭 一司氏、農業分野の地域ブランディングを展開する林 俊輔氏が登場予定。まちづくり分野のリーダーを目指す皆様へ、松下政経塾をご紹介します。

■独立行政法人国際協力機構

「開発途上国で、まちづくり！」

開催日：11月29日(日) 15:30～16:30

まちづくりと青年海外協力隊は、密接な関わりを持っています。開発途上国の現場最前線で、青年海外協力隊の隊員として経済・社会の発展、復興を支援する活動は、まちづくりの現場そのものです。そのため、日本に帰国した青年海外協力隊 OB には、日本のまちづくり分野で活躍する人も多数います。2年間、開発途上国のボランティアを通じてまちづくりに携わるという選択肢をご紹介します。